

社会福祉法人 朝日園 定款

第一章 総則

(目的)

第一条 この社会福祉法人(以下「法人」という。)は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

(1) 第一種社会福祉事業

障害者支援施設朝日園の経営

(2) 第二種社会福祉事業

(イ) 障害福祉サービス事業(就労継続支援 A 型、B 型、生活介護・朝日園)の経営

(ロ) 障害福祉サービス事業(就労継続支援 B 型、生活介護・朝日平成園)の経営

(ハ) 障害福祉サービス事業(生活介護・すずらん)の経営

(ニ) 障害福祉サービス事業(ホームヘルプあさひ)の経営

(ホ) 一般相談支援事業(障害者生活支援センターあい)の経営

(ヘ) 特定相談支援事業(障害者生活支援センターあい)の経営

(ト) 障害児相談支援事業(障害者生活支援センターあい)の経営

(チ) 移動支援事業(ホームヘルプあさひ)の経営

(リ) 地域活動支援センターあさひの経営

(ヌ) 福祉ホーム朝日ヶ丘及び朝日つばさの経営

(ル) 生計困難者に対する相談支援事業の経営

(オ) 介護保険法に基づく第 1 号訪問事業(ホームヘルプあさひ)の経営

(名称)

第二条 この法人は、社会福祉法人朝日園という。

(経営の原則)

第三条 この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を确实、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

(事務所の所在地)

第四条 この法人の事務所を香川県高松市前田東町 585 番地 5 に置く。

2 前項のほか、従たる事務所を香川県木田郡三木町大字池戸 931 番地 6 に置く。

第二章 評議員

(評議員の定数)

第五条 この法人に評議員7名以上11名以内を置く。

(評議員の選任及び解任)

第六条 この法人に評議員選任・解任委員会を置き、評議員の選任及び解任は、評議員選任・解任委員会において行う。

- 2 評議員選任・解任委員会は、監事1名、事務局員1名、外部委員1名の合計3名で構成する。
- 3 選任候補者の推薦及び解任の提案は、理事会が行う。評議員選任・解任委員会の運営についての細則は、理事会において定める。
- 4 選任候補者の推薦及び解任の提案を行う場合には、当該者が評議員として適任及び不適任と判断した理由を委員に説明しなければならない。
- 5 評議員選任・解任委員会の決議は、委員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。但し、外部委員が出席し、かつ、外部委員が賛成することを要する。

(評議員の任期)

第七条 評議員の任期は、選任後四年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとして、再任を妨げない。

- 2 評議員に欠員が生じた場合には、速やかにこれを補充するものとする。ただし、補欠の評議員の任期は、前任者の任期の満了までとすることができる。
- 3 評議員は、第五条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員の報酬等)

第八条 評議員の報酬は支弁しない。ただし、評議員には別に定める費用弁償規程の支給の基準に従って算出した額を費用弁償として支給することができる。

第三章 評議員会

(構成)

第九条 評議員会は、全ての評議員をもって構成する。

(権限)

第一〇条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任又は解任
- (2) 理事及び監事の報酬等の額

- (3) 理事及び監事並びに評議員に対する報酬等の支給の基準
- (4) 計算書類(貸借対照表及び収支計算書)及び財産目録の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 残余財産の処分
- (7) 基本財産の処分
- (8) 社会福祉充実計画の承認
- (9) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開 催)

第一一条 評議員会は、定時評議員会として毎年度6月に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招 集)

第一二条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

- 2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(議 長)

第一三条 評議員会の議長は、その都度評議員の互選とする。

(決 議)

第一四条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

- (1) 監事の解任
- (2) 定款の変更
- (3) その他法令で定められた事項

- 3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第十六条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

- 4 第1項及び第2項の規定にかかわらず、評議員(当該事項について議決に加わることができるものに限る。)の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、評議員会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第一五条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

- 2 議長及び会議に出席した評議員のうちから選出された議事録署名人二名がこれに記名押印する。

第四章 役員及び職員

(役員 の 定義)

第一六条 この法人には、次の役員を置く。

- (1) 理事 6名以上10名以内
 - (2) 監事 2名
- 2 理事のうちから一名を理事長とする。
 - 3 理事長以外の理事のうち、一名を常務理事とする。

(役員 の 選任)

第一七条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

- 2 理事長及び常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

(理事 の 職務 及び 権限)

第一八条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

- 2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行する。
- 3 理事長は、毎会計年度に4ヶ月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行状況を理事会に報告しなければならない。

(監事 の 職務 及び 権限)

第一九条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

- 2 監事は、いつでも、理事及び職員に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況を調査することができる。

(役員 の 任期)

第二〇条 理事又は監事の任期は、選任後二年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結までとし、再任は妨げない。

- 2 理事又は監事に欠員が生じた場合には、速やかにこれを補充するものとする。ただし、補欠の理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了までとすることができる。
- 3 理事又は監事は、第十六条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第二一条 理事又は監事が次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

- (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。
- (2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(役員報酬等)

第二二条 理事及び監事に対して、評議員会において別に定める総額の範囲内で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算出した額を報酬等として支給することができる。

(職員)

第二三条 この法人に、職員若干名を置く。

- 2 この法人の設置経営する施設の長（以下「施設長」という。）は、理事会において、選任及び解任する。
- 3 施設長以外の職員は、理事長が任免する。

第五章 役員等の損害賠償責任の免除

(責任の免除)

第二四条 理事、監事が任務を怠ったことによって生じた損害について社会福祉法人に対し賠償する責任は、職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がなく、その原因や職務執行状況などの事情を勘案して特に必要と認める場合には、社会福祉法第四十五条の二十二の二において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第百十三条第一項の規定により免除することができる額を限度として理事会の決議によって免除することができる。

第六章 理事会

(構成)

第二五条 理事会は、全ての理事をもって構成する。

(権限)

第二六条 理事会は、次の職務を行う。ただし、日常の業務として理事会が定めるものについては理事長が専決し、これを理事会に報告する。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 理事長及び常務理事の選定及び解職

(招 集)

第二七条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(議 長)

第二八条 理事会の議長は、その都度理事の互選とする。

(決 議)

第二九条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、理事(当該事項について議決に加わることができるものに限る。)の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたとき(監事が当該提案について異議を述べたときを除く。)は、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第三〇条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 当該理事会に出席した理事長及び監事は、前項の議事録に記名押印する

第七章 資産及び会計

(資産の区分)

第三一条 この法人の資産は、これを分けて基本財産及びその他財産の二種とする。

2 基本財産は、次の各号に掲げる財産をもって構成する。

(1)	木田郡三木町大字池戸字香蓮寺 931 番 6 所在の土地	4,014.65 m ²
(2)	〃 859 番所在の土地	654.00 m ²
(3)	〃 930 番 1 所在の土地	440.06 m ²
(4)	〃 931 番 13 所在の土地	1,024.35 m ²
(5)	〃 858 番 6 所在の土地	82.00 m ²
(6)	〃 857 番 10 所在の土地	29.44 m ²
(7)	〃 858 番 7 所在の土地	121.41 m ²
(8)	〃 936 番 2 所在の土地	135.00 m ²
		(1/2 持分)
(9)	〃 856 番 1 所在の土地	960.75 m ²
(10)	〃 856 番 6 所在の土地	110.32 m ²
(11)	〃 857 番 8 所在の土地	396.00 m ²
(12)	〃 856 番 7 所在の土地	31.48 m ²

(13)	〃	931 番 5 所在の土地	1,487.00 m ²
(14)	〃	929 番 1 所在の土地	608.00 m ²
(15)	〃	929 番 2 所在の土地	145.00 m ²
(16)	〃	929 番 3 所在の土地	308.38 m ²
(17)		高松市前田東町字山下 585 番 5 所在の土地	284.28 m ²
(18)	〃	585 番 21 所在の土地	311.68 m ²
(19)	〃	585 番 25 所在の土地	0.78 m ²
(20)	〃	585 番 20 所在の土地	364.74 m ²
(21)	〃	585 番 28 所在の土地	826.50 m ²
(22)		高松市亀田町字松ノ木 260 番 7 所在の土地	1,358.16 m ²
(23)		木田郡三木町大字池戸字香蓮寺 931 番 4 所在の土地	19.00 m ²
		土地合計	13,712.98 m ²
(24)		木田郡三木町大字池戸字香蓮寺 931 番地 6 所在の建物	
	種類	事務所・作業場・寄宿舍	
		鉄筋コンクリート・鉄骨造陸屋根・合金メッキ鋼板ぶき平家建	
		朝日園園舎	1849.76 m ²
(25)		木田郡三木町大字池戸字香蓮寺 857 番地 8、856 番地 1 所在の建物	
	種類	寄宿舍 鉄筋コンクリート造陸屋根平家建	
		朝日ヶ丘舎	363.02 m ²
(26)		高松市前田東町字山下 585 番地 5 所在の建物	
	種類	事務所 木造スレート葺 2 階建	
		社会福祉法人朝日園事務所	86.64 m ²
(27)		木田郡三木町大字池戸字香蓮寺 931 番地 5 所在の建物	
	種類	訓練場・作業所・倉庫 鉄筋コンクリート・鉄骨造陸屋根鋼板葺 2 階建	
		朝日園園舎 1 階 468.10 m ² 、2 階 100.81 m ² =568.91 m ²	
(28)		高松市前田東町字山下 585 番地 20、585 番地 21、585 番地 5 所在の建物	
	種類	作業場・浴室・事務所 鉄筋コンクリート造陸屋根 2 階建	
		朝日平成園園舎	
		高松市身体障害者デイ・サービスセンターあさひ舎	
		1 階 384.40 m ² 、2 階 363.53 m ² =747.93 m ²	
(29)		高松市前田東町字山下 585 番地 5 所在の建物	
	種類	作業場 鉄骨造鋼板ぶき平家建	59.10 m ²
(30)		高松市前田東町字山下 585 番地 28、585 番地 17、585 番地 21、585 番地 22、585 番地 20 所在の建物	
	種類	作業場 鉄筋コンクリート・鉄骨造陸屋根 2 階建	
		朝日平成園園舎 1 階 205.69 m ² 、2 階 343.70 m ² =549.39 m ²	
(31)		木田郡三木町大字池戸字香蓮寺 929 番地 1、929 番地 2、930 番地 2 所在の建物	

種類	作業場・事務所	鉄筋コンクリート造陸屋根 2階建	
	朝日エイト園舎	1階 387.22 m ² 、2階 192.46 m ²	=579.68 m ²
(32)	高松市亀田町字松ノ木 260番地 7 所在の建物		
種類	寄宿舍	鉄筋コンクリート造陸屋根鋼板葺平家建	
	朝日つばさ舎		580.20 m ²
(33)	木田郡三木町大字池戸字香蓮寺 929番地 1、929番地 2 所在の建物		
種類	寄宿舍	鉄筋コンクリート造陸屋根地下 1階付 2階建	
	朝日園園舎	1階 220.79 m ² 、2階 220.79 m ² 、地下 1階 27.54 m ²	=469.12 m ²
(34)	木田郡三木町大字池戸字香蓮寺 859番地、858番地 7、931番地 4、857番地 10、858番地 6、858番地 7 先所在の建物		
種類	作業所	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板ぶき 2階建	
		1階 53.17 m ² 、2階 195.47 m ²	=248.64 m ²
		建物合計	6,102.39 m ²

3 その他財産は、基本財産以外の財産とする。

4 基本財産に指定されて寄附された金品は、速やかに第二項に掲げるため、必要な手続をとらなければならない。

(基本財産の処分)

第三二条 基本財産を処分し、又は担保に供しようとするときは、理事会及び評議員会の承認を得て、香川県知事の承認を得なければならない。ただし、次の各号に掲げる場合には、香川県知事の承認は必要としない。

(1) 独立行政法人福祉医療機構に対して基本財産を担保に供する場合

(2) 独立行政法人福祉医療機構と協調融資（独立行政法人福祉医療機構の福祉貸付が行う施設整備のための資金に対する融資と併せて行う同一の財産を担保とする当該施設整備のための資金に対する融資をいう。以下同じ。）に関する契約を結んだ民間金融機関に対して基本財産を担保に供する場合（協調融資に係る担保に限る。）

(資産の管理)

第三三条 この法人の資産は、理事会の定める方法により、理事長が管理する。

2 資産のうち現金は、確実な金融機関に預け入れ、確実な信託会社に信託し、又は確実な有価証券に換えて、保管する。

(事業計画及び収支予算)

第三四条 この法人の事業計画書及び収支予算書については、毎会計年度開始日の前日までに、理事長が作成し、理事会の決議を経て、評議員会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

2 前項の書類については、主たる事務所及び従たる事務所に、当該会計年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第三五条 この法人の事業報告及び決算については、毎会計年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
 - (2) 事業報告の附属明細書
 - (3) 貸借対照表
 - (4) 収支決算書（資金収支計算書及び事業活動計算書）
 - (5) 貸借対照表及び収支計算書（資金収支計算書及び事業活動計算書）の附属明細書
 - (6) 財産目録
- 2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、定時評議員会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。
- 3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間また、従たる事務所に3年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所及び従たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。
- (1) 監査報告
 - (2) 理事及び監事並びに評議員の名簿
 - (3) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類
 - (4) 事業の概要等を記載した書類

(会計年度)

第三六条 この法人の会計年度は、毎年四月一日に始まり、翌年三月三十一日をもって終わる。

(会計処理の基準)

第三七条 この法人の会計に関しては、法令等及びこの定款に定めのあるもののほか、理事会において定める経理規程により処理する。

(臨機の措置)

第三八条 予算をもって定めるもののほか、新たに義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、理事総数の三分の二以上の同意がなければならない。

第八章 解散

(解 散)

第三九条 この法人は、社会福祉法第46条第1項第1号及び第3号から第6号までの解散事由により解散する。

(残余財産の帰属)

第四〇条 解散（合併又は破産による解散を除く。）した場合における残余財産は、評議員会の決議を得て、社会福祉法人並びに社会福祉事業を行う学校法人及び公益財団法人のうちから選出されたものに帰属する。

第九章 定款の変更

(定款の変更)

第四一条 この定款を変更しようとするときは、評議員会の決議を得て、香川県知事の認可（社会福祉法第四五条の三六第二項に規定する厚生労働省令で定める事項に係るものを除く。）を受けなければならない。

2 前項の厚生労働省令で定める事項に係る定款の変更をしたときは、遅滞なくその旨を香川県知事に届け出なければならない。

第十章 公告の方法その他

(公告の方法)

第四二条 この法人の公告は、社会福祉法人朝日園の掲示場に掲示するとともに、官報、新聞又は電子公告に掲載して行う。

(施行細則)

第四三条 この定款の施行についての細則は、理事会において定める。

附 則

この法人の設立当初の役員は、次のとおりとする。ただし、この法人の成立後遅滞なく、この定款に基づき、役員を選任を行うものとする。

理事長	白井要平	理事	次田雅恭
理事	村本鎮雄	〃	本田稔
〃	稗忠雄	〃	馬場幸秋
〃	藤本孝雄	〃	中村官乗
〃	白井好一	監事	玉木博
〃	橋本敏広	〃	松原寅夫

附 則

この定款は、平成 2 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この定款は、平成 3 年 12 月 10 日から施行する。

附 則

この定款は、平成 5 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この定款は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この定款は、平成 8 年 3 月 15 日から施行する。

附 則

この定款は、平成 8 年 11 月 13 日から施行する。

附 則

この定款は、平成 9 年 5 月 12 日から施行する。

附 則

この定款は、平成 9 年 11 月 5 日から施行する。

附 則

この定款は、平成 10 年 3 月 20 日から施行する。

附 則

この定款は、平成 10 年 9 月 2 日から施行する。

附 則

この定款の変更は、香川県知事の認可のあった日（平成 13 年 6 月 29 日）から施行する。

附 則

この定款の変更は、香川県知事の認可のあった日（平成 15 年 4 月 1 日）から施行する。

この定款の変更により選任される評議員の任期は、定款第 17 条の規定に関わらず、平成 16 年 5 月 26 日までとする。

附 則

この定款の変更は、香川県知事の認可のあった日（平成 15 年 10 月 1 日）から施行する。

附 則

この定款の変更は、香川県知事の認可のあった日（平成 18 年 12 月 20 日）から施行する。

附 則

この定款の変更は、香川県知事の認可のあった日（平成 20 年 6 月 26 日）から施行する。

附 則

この定款の変更は、香川県知事の認可のあった日（平成 21 年 6 月 1 日）から施行する。

附 則

この定款の変更は、香川県知事の認可のあった日（平成 22 年 4 月 1 日）から施行する。

附 則

この定款は、香川県知事の認可のあった日（平成 24 年 4 月 20 日）から施行する。

附 則

この定款の変更は、香川県知事の認可のあった日（平成 24 年 6 月 14 日）から施行する。

附 則

この定款は、香川県知事の認可の日（平成 25 年 4 月 24 日）から施行する。

附 則

この定款は、香川県知事の認可の日（平成 27 年 1 月 30 日）から施行する。

附 則

この定款は、香川県知事の認可の日（平成 27 年 6 月 8 日）から施行する。

附 則

この定款は、香川県知事の認可の日（平成 28 年 5 月 23 日）から施行する。

附 則

この定款は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

但し、この定款の第一条(2) (ニ) (チ) (オ) については、香川県知事の認可の日（平成 29 年 2 月 14 日）から施行する。

附 則

この定款は、香川県知事の認可の日（平成 31 年 4 月 17 日）から施行する。

附 則

この定款は、令和 2 年 10 月 30 日から施行する。

附 則

この定款は、香川県知事の認可の日（令和 4 年 7 月 6 日）から施行する。